

神奈川大学工学部 電子情報フロンティア学科 同窓会会報

平成22年10月 No.18

〒221-8686

横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学

電子情報フロンティア学科同窓会

TEL:045-481-5661(大学代表)

FAX:045-491-7915(大学代表)

E-mail: dousoukai@or.tv<http://dousoukai.or.tv>

平成21年度同窓会総会開催さる！

2009年10月18日(日)

神奈川大学ホームカミングデー終了後平成21年度電子情報フロンティア学科同窓会総会が開催され多数の卒業生の参加を得て盛会のうちにお開きとなりました。

同窓会会長挨拶

岡 圭介(昭和41年卒)

みなさん、こんにちは、岡でございます。

昨年、藪田前会長から同窓会会長の大役をお引き受けし、早いもので1年が経過致しました。この間、同窓会役員、同窓会運営の活性化として新しく組織化した幹事会の皆さま、学内の先生方々には、ご指導、ご鞭撻を頂き、魅力ある同窓会として多くの内容を取り組んで参りました。同窓会を代表して皆さまにお礼を申し上げます。

同窓会活性化に向けては、昨年の同窓会后、新たに幹事会の下に同窓会活性化検討WGを組織化し、これまで8回の会議を開催いたしました。会議の中で検討して参りました取組につきましては、一例をご紹介させていただきますと、平成22年6月2日に「OB交流セミナー&パーティー」を開催しました。会議に先立ちフロンティアセミナー第8回OB講演を行いました。

同窓会推薦による船田泰寛さんと河野美由紀さんに実施していただき実社会の話聞いていただき好評でありました。OB交流セミナーでは、各業界で活躍しているOBに集まっていただき、意見交換を実施し、異業種卒業生ならびに学内の先生方による交流の場を広げることができました。

他にも、「同窓会ホームページ検討」「新入生を対象としたセミナーや懇親会への参加」「電子情報特別講義の講師」「研究室交流会」「テクノフェス

タへの参加 等」多くの取組を実施しております。

引き続き、OBの皆様には、神奈川大学の電気の同窓会をさらに活性化しOBと学生大学が発展していくよう多大なるご支援をお願いしたいと思います。

最後に、学科創立80周年に向けた同窓会および学科の一層の発展のために、積極的なご意見・ご提言を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。



＜岡会長 総会での挨拶＞



＜OB交流セミナー&パーティー＞

総会・懇親会便り

平成 21 年度総会・懇親会は 10 月 18 日(日)に開催されました。総会では、平成 20 年度収支決算および平成 21 年度事業計画等がとどこおりなく承認されました。総会に引き続き開催された懇親会では終始和やかな歓談が行われました。なお、**今年度の同窓会総会・懇親会は大学主催のホームカミングデーに合わせ、10 月 17 日(日)に開催されます。**会員の皆様方の多数のご参加をお待ちしております。



◆電子情報フロンティア学科の近況報告◆

学科の教育方針について

皆様、ご承知のとおり、ゆとり教育、少子化による受験生の減少、更には受験生の工学部離れなどの社会現象は、大学、特に工学部の教育・運営基盤を揺るがしかねない状況となって来ており、更なる教育、運営改革が必須となっております。このような状況にあって、本学科の教育研究方針がどの方向に向かうのか、ご関心をお持ちの方も多いかと思います。

教育研究の基本方針に関しましては、文科省の指導もあって、本学は昨年度から今年度初頭にかけて、本学の教育研究理念に基づいた学部、学科の「教育研究理念」と3つのポリシーの策定を終えました。3つのポリシーとは、卒業時の学生像を規定する「学位授与の方針(ディプロマポリシー)」、教育方針を規定する「教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)」、入学者像を規定する「入学者受入の方針(アドミッションポリシー)」を指します。

本学科の「教育研究理念」は「電子情報フロンティア学科は、本学および本学工学部の教育研究理念

の下に、現代社会の持続的発展を支える電気工学、電子工学、通信工学、情報工学およびこれらの融合領域について研究を促進すると共に、これらの分野について幅広い基礎知識と専門知識を併せ持ち、人類社会の要請に主体的、実践的に対応できる人材の育成を目指します」となっております。教育研究理念を具現するための、3つのポリシーにつきましては、いずれ、ホームページ等に掲載されるかと思えますので割愛します。

本学科は電気電子情報工学分野の急速な技術の発展にあわせて、その教育研究領域を調整、展開してきました。この間、教育研究領域を表す学科名称も創立時の電気工学科から、電気電子情報工学科、電子情報フロンティア学科と変遷して来ましたが、学科の「教育研究理念」に明示されているとおり、従前の教育研究領域に変更はありません。今後、工学部の再編が予定されておりますが、学科の教育改革は学科の教育研究領域を継承、発展させながら実施されるものと信じております。

卒業生の皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます

許瑞邦教授最終講義の退職記念パーティの報告

神奈川大学工学部電子情報フロンティア学科 許瑞邦教授は、2010 年 3 月末日をもって定年退職されました。ご退職に先立ち、去る 3 月 6 日(土)に許先生の最終講義並びに退職記念パーティが行われました。出席者は、学生、卒業生、教職員そしてご来賓の方を合わせて最終講義が 140 名、退職記念パーティが 137 名となり、大勢の方にご参加頂きました。23 号館 201 教室で行われた最終講義は、「在職 43 年 -平面回路の研究-」の題目で講義され、43 年にわたる教育・研究・学内外の活動を振り返りながら、特に長年研究をされてきたマイクロ波平面回路の固有モードによる解析について、研究室の歴史を振り返るようこれまでの研究成果をわかりやすく紹介されました。また最終講義の内容や歴代卒業生などが記載された記念冊子が発行され、卒業生からも、自分の名前や写真、それと研究テーマが思わぬところに出てきて当時を懐かしむ声もあがっ

ておりました。その後 19 号館 Lux ホールに場所を移して行われた退職記念パーティでは、学長、学部長をはじめご来賓の挨拶や記念品贈呈、写真撮影などが行われ、許教授の長年の功勞に対し感謝の意を表しながら歓談する姿が見られました。

許教授は 1967 年(昭和 42 年)に神奈川大学に専任講師として就任され、以来 43 年間にわたり



広い視野と先見性をもって研究・教育に対して多大な功績を残された一方、数次の電気工学科主任をはじめ、工学部内各種委員会の委員/委員長、情報処理センター副所長、教学評議会委員、工学研究所所長などの要職を数多く務められ、神奈川大学の発展にご尽力されて参りました。現在は、神奈川大学名誉教授並びに工学研究所客員教授に就任し、非常勤講師として学生に教授するとともに、自らも在職中取り組んでこられたマイクロ波平面回路をさらに展開させるプロジェクト研究にも従事されており、今後ますますのご活躍をお祈

り致します。



同窓会の活動

「神大テクノフェスタ2010に電気工学科の同窓会としてはじめて参加」

2008年当学科の許瑞邦教授が工学研究所の所長になられたとき、工学部活性化の起爆剤として、工学研究所が中心となり、工学部教員による先端的研究の紹介と大学院生によるポスター発表、及び企業展示を企画し、神奈川大学全体の同窓会（宮陵会）に先だて、神大テクノフェスタをはじめたのがきっかけです。

今年度の『神大テクノフェスタ2010』は、10月15日（金）に開催致します。開催にあたり、実行委員会ではテクノフェスタをたくさんの方にアピールするために広報用ポスターを作成し、そのデザインを学生からの公募形式として、コンペにて優秀作品（賞金3万円）を選ぶことによって、準備段階からの学生の参加意欲を高め、イベントの盛り上げと成功の一助となることを考えております。

また、電気工学科の同窓会としても、はじめて1つの展示ブースを設け、卒業生OB/OGによる諸先輩から3年生や大学院生などの在校生に対して各業界の紹介を行うことを企画いたしました。これは初めての企画であり、諸先輩の経験を活かして、在校生に企業の姿、企業紹介など色々な面で支援できることがありそうなので同窓会の活動の一環として積極的に展示ブースを設けました。協力可能な方は同窓会幹事までご連絡お願い致します。

神大テクノフェスタ2010の翌日からは、10月16日（土）に全国同窓会の支部長会議、10月17日（日）にホームカミングデー、その後、電気工学科の同窓会を催します。是非、電気工学科（電気電子情報学科、電子情報フロンティア学科）の卒業生の皆様の積極的な参加とご支援をお願いする次第です。

以下に今年度のテクノフェスタ2010の概要を示しますので、是非、OB/OGの方に声をかけていただき、参加のほどお願い申し上げます。

タイトル：神大テクノフェスタ 2010

日時：2010年10月15日（金） 13:00～17:30

場所：神奈川大学2号館（5学科の大学院生のポスター発表、企業展示）、及び本館804会議室

テーマ：暮らしと環境の未来 — エコ・テクノロジー—
内容：講演会・ポスター発表・実演展示・作品展示・研究相談窓口

講演内容：題目、講演者氏名、発表時間

第1部 工学部重要機器報告会 13:00～14:10

「人工酵素を目指して～有機ホウ素化合物用いた新規触媒の開発～」

「製品のライフサイクルにおける品質機能用

「恐竜は重くて走れないか？（力学計算による古代生物の再現）」

第2部 テーマ講演会 14:25～16:20

「住まいと暮らし」

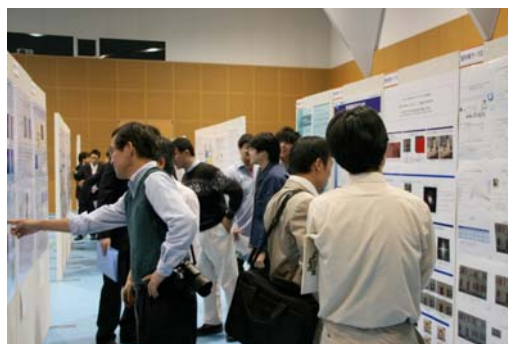
「神奈川大学における電気自動車の研究開発」

「エネルギー有効利用におけるスターリングエンジン」

「ヒューマノイドロボットと人間との共存」

第3部 特別講演 16:30～17:30

「電気自動車用リチウムイオン電池の開発動向」



電気工学科同窓会幹事の連絡先：

岡会長：oka-keisuke@vivid.ocn.ne.jp

大槻：otsuki@jdserv.co.jp

羽山：hayama.shigeru@tepco.co.jp

平岡：hiraoka@kanagawa-u.ac.jp

土屋：kenshin@kanagawa-u.ac.jp

穴田：anada@kanagawa-u.ac.jp

電気電子情報工学科同窓会の活動報告

同窓会の活動内容と近況をご報告させていただきます。 昨年岡新会長の下、総会においても議論された「同窓会の活性化」につきまして、今年度は多くの施策に挑戦してまいりました。

毎年1回程度だった幹事会も、今年度は8月末時点で既に7回開催し、更に下部機関として同窓会活性化検討ワーキンググループを設置し、これも6回の作業会を行い、各種施策を提案・実施してまいりました。つまり、同窓会の目的である「学科の維持発展」と「会員相互の親睦」を具体的な施策として最大限に実現してまいりました。

具体的な施策をいくつか紹介しますと、前期は、フロンティアセミナーへの講師派遣、オープンラボへのOB参加、OBによるセミナー&パーティーの実施、活躍卒業生名簿の作成などです。また後期には、テクノフェスタへの同窓会としての参画や、電子情報特別講義へのOB講師派遣等も企画しており

ます。

今後も更に、同窓会活性化に向けた活動を続けてまいりたいと思います。

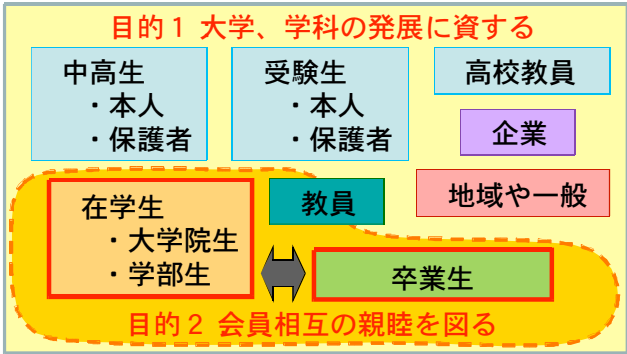


図 同窓会の目的について



写真 OBによるセミナー&パーティー

取 入		支 出	
会費 2000円x183名	366,000	通信費 総会案内・会報郵送費 (389通)	35,010
		返信はがき用切手400通x50円 幹事会開催案内返信はがき 30通x50円	20,000
		印刷用消耗品費 封筒(500枚) A3用紙(500枚) はがき用紙	2,625 1,030 1,260
預金利息(2009年4月1日)	5,705	70周年記念パンフレット配布用 手提げ紙袋	2,792
		郵便振り替え受取人払い 138x120円 25x80円	16,560 2,000
平成20年繰越金	3,306,574	20年度懇親会赤字	40,000
		レンタルサーバー代 代金振込み手数料	8,820 262
		会費 次年度繰越金	0 3,546,420
収入合計	3,678,279	支出合計	3,678,279
収入合計-支出合計		0	

取 入		支 出	
会費	300,000	通信費	70,000
預金利息(4月1日)	3,000	郵便振替受取人払い	18,000
		印刷費	10,000
		会費	2,000
		レンタルサーバー代	8,820
		事務用品	5,000
		懇親会予備費	50,000
平成20年繰越金	3,546,420	次年度繰越金	3,685,600
収入合計	3,849,420	支出合計	3,849,420
収入合計-支出合計		0	

同窓会からのお知らせとお願い

・会費の払い込みについて

平成22年度会費を同封の払込用紙で郵便振替口座(00200-8-42851)にお振り込みください。年会費2千円で、その際卒業年月、1部・2部・短大・大学院を必ずご記入ください。本同窓会は神奈川大学の同窓会であり「社宮陵会」とは別組織となっております。その点をご理解して戴き、ご支援・会費の納入をお願いいたします。

・現住所等の連絡について

住所変更がありましたら同封のハガキ、FAX:045-491-7915, E-mail: dousoukai@or.tv または会費払込の際に通信欄にてお知らせください。本同窓会会員の住所は「社宮陵会」のデータに基づいておりますので住所変更等の連絡は、どちらかにお願いいたします。また、会員皆様のご意見、ご要望、近況をお待ちしております。今後とも会員皆様のご支援の程よろしくお願い致します。

・役員・クラス委員・支部長の推薦のお願い

同窓会では役員、支部長(北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)、クラス(年度)委員の推薦をお願いしております。自薦、他薦いづれでも結構です。連絡をお待ちしております。